

---

## 平成24年度第3回阿波地域審議会

日 時 平成25年2月13日(水) 午後3時00分～午後4時30分

場 所 津山市 阿波支所 3階研修室

出席委員 小椋懋、歌房富夫、森宗柏、小椋道典、高矢満雄、大塚静江、  
稲田法子、田中弘

事務局 大下副市長、植月地域振興部長、皆木地域振興部次長、加藤環境福祉部企画調整官、池嶋こども課主任、今村産業政策課長、松田産業政策課主幹、福島農業振興課長、池田農業振興課主幹、米田森林課長、久松企業立地課長、高見企業立地課主幹、上高水道局次長、峪川水道局企画調整官、高務学校教育部次長、絹田学校教育部企画調整官、保田阿波支所長、山本阿波支所市民生活課長、松枝阿波支所産業建設課長、三宅阿波支所市民生活課主任

傍聴者 なし

---

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 副市長あいさつ
- 4 協議事項
  - ・ 小学校廃校後の有効利用と記念事業について
  - ・ 阿波小学校の統合に向けて
  - ・ 小学校統合後の通学の安全について
  - ・ 農協阿波営業所の給油所存続について
  - ・ 発電事業の推進について
  - ・ エネルギーの地産地消化について
  - ・ 阿波地域の「住民主体の地域づくり」について
- 5 報告事項
  - ・ 簡易水道の上水道への統合について
  - ・ 平成25年度阿波小学校の校舎形態について
  - ・ JR 因美線3/16付ダイヤ改正予定に伴う市営阿波バスの運行時刻対応について
  - ・ 五輪原高原における民間事業者による風力発電事業について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

## 議事録の概要

### 1 開 会

(事務局)

ただいまから第3回阿波地域審議会を開会いたします。

### 2 会長挨拶

この地域審議会も残り2年という時期になってきました。いよいよ正念場を迎え、阿波小学校の閉校や幼稚園の休園もあり、この地域にとって大きな試練になろうかと思えます。地域の抱えている課題について、皆様に十分聞いていただき対応していただければと思えますのでよろしく願いいたします。

### 3 副市長挨拶

皆様、ご出席ありがとうございます。津山市では新市の建設計画や第4次総合計画に基づいて町づくりを進めてきたところですが、ご承知のように大変厳しい財政環境の中で、これからの住民の皆様のニーズをいかに維持していくかといった大きな課題があります。中山間地域では過疎化や高齢化が進み、こうした中で地域に暮らす方々も自ら地域づくりに参加していく協働の町づくりを進めてまいりたいと思えますのでどうぞご協力をお願いいたします。

### 4 協議事項

・小学校廃校後の有効利用と記念事業について

(委員) 学校が統合となったのちの阿波地区について、さらなる過疎化や衰退を心配しています。校舎や跡地の利用については、阿波地域の賑わいの推進や過疎化防止のために有効利用をお願いしたいと思えます。もう1つのお願いですが、小学校の廃校に伴い何らかの記念行事を考え、ご支援いただきたいと思います。

(事務局) 小学校跡地の利用についてですが、次年度に向けて地元の方々にも参加していただいた検討委員会を立ち上げ、その中で事業の継続性や多くの方に利用される方法などしっかり議論検討していきたいと考えています。もう一点の記念行事、記念事業についてですが、新年度になりましたら学校やPTA、地元の皆様と事業のあり方について相談させていただき、ご協力を得ながらできる限りの支援をしていきたいと考えています。また、子どもさんたちを含めた今後の地域振興につながるような事業がいいのではと思っています。

(委員) 学校の記念行事については、儀式や儀礼で終わるのではなく住民全員が参加するようなものがないと思うんですが。

(事務局) 一回だけのことで終わらず、子どもたちを含めて今後の地域振興につながるような事業がいいと思います。皆様と一緒に考えていきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。

(会長) そのことに関して、阿波地域に子ども会という組織を作ることも考えていったらと思いますので、その時は育成等のご指導をお願いしたいと思います。

(事務局) 組織の立ち上げや運営といったことについては、関係部局と相談しながら情報提供させていただきたいと思います。

#### ・阿波小学校の統合に向けて

(委員) 小学校の統合により、いじめなどの心配があります。子どもたちに基礎学力や基礎体力などをしっかり教えていただきたい。  
合わせて児童館の利用時間拡大についても検討していただきたい。

(事務局) 学力向上に向けた取り組みについては阿波小学校に限らず、校内研修や授業研究を実施したりあるいは補習学習などでしっかりと取り組んでいるところです。阿波小学校では少人数のメリットも活かしたきめ細やかな指導を通し、学校をあげての教育実践を続け、統合に向けて子どもたちが自信や期待感を持てるようにやっていきたいと考えており、教員配置についてもこれまでの取り組みが活かせるような配置に努めます。児童館につきましては、所管のこども課とも相談し、利用状況を見ながら一番利用しやすい館のあり方を協議させていただきたいと思います。

#### ・小学校統合後の通学の安全について

(委員) 平成25年度末で阿波小学校が統合となりスクールバスが運行されると聞きました。通学路の安全のための運行ルートはどのように考えられているのかお聞きします。

(事務局) スクールバスの具体的な運行については今後協議をさせていただくこととなりますが、児童の安全を最優先に考えてまいります。基本的

には阿波バスの路線に沿うこととなると思いますが、既存のバス停に  
囚われることなく、安全な場所での乗降など柔軟な対応をしたいと考  
えています。

(会 長) 路線バスではないので、地元や保護者の意見を聞いて停留所を作る  
ということですか。

(事務局) 停留する場所について、地域地域で協議しながら対応していきたい  
と思います。

(委 員) バスの大きさはどのくらいのサイズを検討されているんですか。

(事務局) 今は20人乗りくらいということを考えています。

(委 員) サイズが大きくなったら、県道以外に入るのが難しくなるというこ  
ともある。

(事務局) それらについても今後協議させていただきたいと思っています。

#### ・農協阿波支所の給油所存続について

(委 員) 阿波地域では農協営業所に給油所が併設されていますが、人口の激  
減等により営業所の廃止の話を聞きます。高齢者福祉や過疎地の農林  
業継続を考慮し、給油所廃止を食い止める施策を講じていただきたい。  
津山農協への存続要請や新たな営業者の確保、グリーン公社による業  
務継承などが考えられると思いますが。

(事務局) あばグリーン公社においては、グリーン公社経営改善計画に基づく  
収支改善に向けた取り組みを進めている段階にあり、現時点において  
給油所業務等の経営が困難となった業務を引き受けて担うことは困難  
と考えます。一方で山間部や過疎地域における給油所の存在は、高齢  
者宅等への燃料の配達などライフラインの一役を担っている点も踏ま  
え、地元有志や地域組織等での業務継承について、地域の皆様方の幅  
広い視点でご検討いただき、方向性を見出す必要があると考えます。

#### ・発電事業の推進について

(委 員) 加茂町の五輪原と阿波の野々原高原に風力発電建設が計画され、地  
元としても雇用促進や観光開発などに期待していましたが、環境問題

や保安林解除などで予定は大幅に遅れ、また規模も縮小すると聞いています。国や県に各種の規制緩和措置などを積極的に働きかけていただきたいと思います。また、風力・溪流の水力・木材による火力など資源に恵まれている津山市の発電事業の将来についてお聞かせいただきたいと思います。

(事務局) 再生可能エネルギーの推進ということでお答えさせていただきますが、震災による原発事故以降、国のエネルギー政策も転換されるとともに地方自治体の積極的関与も期待されるようになっていきます。再生可能エネルギーは、環境にやさしい持続可能なエネルギーであり、地球温暖化防止をはじめとする環境面だけでなく、関連する産業の大きな成長が見込まれ、地域経済の活性化への貢献が期待される分野です。津山市では昨年11月に再生可能エネルギー推進について、今後の基本方針や役割分担、重点分野などを定めた指針を策定しました。具体的な施策はこれから検討していきますが、「津山市地域新エネルギービジョン」を柔軟に見直しながら、利用可能量が多く市民要望が強い太陽光発電を核として、風力、バイオマス、少水力などエネルギー資源を有効に活用し、持続可能なまちを目指してまいります。風力発電につきましては、報告事項の中で説明させていただきます。

#### ・エネルギーの地産地消化について

(委員) 昨年、森林の有効活用のため実施した間伐材の集積、チップ化、そしてそれを阿波温泉のボイラーでエネルギーとして使う社会実験は好評でした。阿波温泉施設の指定管理の更新に併せ、温泉で使用する燃料に阿波地域の間伐材で生産されたチップを使用する条件を付けて、地域内の間伐促進や有効利用が図れればよいと思いますが。

(事務局) お話がありましたように、昨年の秋に実施した社会実験では、この取り組みが阿波地域の活性化等に有効な手段であるとの結果を得ています。また、チップ製造に伴う間伐作業などにより森林の整備や林業技術の伝承が図られるなど相乗的な効果が期待されます。平成26年度からの阿波交流館、浴室等施設の指定管理業務の更新に併せ、地域産木材チップの使用を条件に加えることを前向きに検討してまいります。

#### ・阿波地域の「住民主体の地域づくり」について

(委員) 阿波地域では平成20年から住民自治協議会阿波まちづくり協議会

を結成し、地域活性化のための取り組みを行ってきました。22年にはエコビレッジ阿波構想の取りまとめが行われ、これを具体的に推進するために推進協議会を立ち上げ、部会やプロジェクトを設けて検討、実施してきました。新しいムラのかたち部会では、昨年12月に阿波地域の将来像についての中間報告も取りまとめをしました。今後も地域住民が一体となって活性化のために頑張っていきますので、引き続き支援をお願いしたいと思います。

(事務局) はじめに、地域の活性化のために阿波地域の皆さんが一生懸命に取り組んでおられることに敬意を表したいと思います。次年度の支援の関係ですが、現在平成24年度の国の緊急経済対策事業で、「過疎集落等自立再生緊急対策事業」という事業が制度化されるということで論議されています。この事業はほぼ小学校区を単位とした地域で、再生に向けた特産品の開発や買い物支援、廃校の改修による拠点の整備など住民主体の一体的な取り組みを支援しようというもので、この阿波地域に合致するとして現在、県を通じてこの事業にエントリーしているところです。こうした事業を活用しながら引き続いて阿波地域の皆さんの住民主体の取り組みを支援してまいりたいと考えています。

(会長) 以上で、阿波地域の課題について市から回答をいただきました。副市長さんの方で、何か付け加えるようなことはありませんでしょうか。

(副市長) 地域づくりの話ですが、エコビレッジ阿波構想に期待しています。これはひとつの地域づくりのもとになるということで、最大限の支援をしたいと思います。木の駅プロジェクトと交流館や温泉施設の燃料利用の連携など検討に値すると思いますので、今後も協働によってやっていかななくてはいけないと思います。

## 5 報告事項

### ・簡易水道の上水道への統合について

(事務局) 加茂、加茂郷のふたつの簡易水道について、平成28年4月1日をもって上水道に統合ということで進めてまいりたいと思っています。阿波については、送・排水施設の改良をさせていただいて統合していくことを予定しています。

(会長) 統合して料金はどうなるのでしょうか。

(事務局) 上水道に統合となりますと、水道局の公営企業会計の会計制度が適用されることとなり、適正料金の問題の検討は当然必要となってまいります。また具体的な案はもっていません。

・平成25年度阿波小学校の校舎形態について

(事務局) 小学校の普通教室棟の耐震について問題があるということで、平成25年度は幼稚園園舎を特別教室棟として利用する考えで準備していきたいと思っています。

(会長) 子どもたちは危険な校舎は使用しないということですね。教員室以外は。

(事務局) 先生方以外は使用しません。

・JR因美線3/16付ダイヤ改正予定に伴う市営阿波バスの運行時刻対応について

(事務局) 今回の改正で、美作河井駅の智頭方面行きが14時37分から15時20分になるとのことです。現在1台で運行しているの、この前後の便を含めて改正しようと思っています。また、運行事業者のあばグリーン公社からは、朝一番の主に高校生が利用する便が、特に冬場ぎりぎりに河井駅に到着するという事もお聞きしており、中学生のスクールバスとしての一面も考慮し、教育委員会とも調整した上、運行時刻の見直しについてお知らせいたしたいと思っております。

・五輪原高原における民間事業者による風力発電事業について

(事務局) 風力発電事業の現在の状況についてご報告いたします。五輪原の風力発電事業につきましては、クリーンエネルギーファクトリー津山ウインドファーム事業が運営し、事業費は約150億です。風車の設置基数は当初32基でしたが19基に縮小しています。これは環境負荷の低減や天然記念物の生育等を配慮したためです。発電能力は51.3MWで売電先は中国電力です。今後は市と業者との立地協定、それから環境保全協定等を結んで農地転用という段階に入っていきます。事業者の計画については最後の詰めをしており、地元工事業者等が決定しましたら説明会等で詳細を報告します。観光事業等の関係では、見学棟の設置や観光農園の整備などを計画したいということで、観光や雇用、税収増などが期待できると考え、今後も関係各課と連携をとりながら事

業支援をしていきたいと思っています。

(委員) 19基の風車の設置場所は。

(事務局) 加茂地域となりました。

(会長) 観光客が見込めるということで、倉見からの林道野々原線の接続も検討していただきたい。

(事務局) 観光についても大きく飛躍できればと考えています。観光客の動線については、産業担当課とも相談しながらいい形で事業推進していきたいと思います。

(会長) 今、事務所はどこにあるのでしょうか。

(事務局) 以前は加茂に常駐していましたが、今は一元管理ということで三重県松阪市におられます。

(会長) 報告事項は以上で終わりました。若干、時間がありますので何かありましたらご発言いただければと思いますが。

(副市長) 農協のガソリンスタンドの件ですが、グリーン公社は現在、経営改善計画を作成中で、これを引き受けるというのは難しいと思います。

(委員) 考え方はいろいろあるんで、公社が受けるだけ受けて、営業は独立採算の団体や企業に委託することも考えられる。

(委員) 四国に視察に行きましたが、地域みんなが出資した会社が運営している。自分も出資している会社が潰れるようなことになっては困るということで、みんなが利用するようになる。

(会長) 16日には農協が来られて座談会があるので、その時に建設的な意見をだしていただきたい。他にありますか。

(委員) 小学校の統合問題については、今後もPTA、学校とともに地元に対して十分に説明をしながら進めることを言っておきます。さらに加茂地域のPTAや地域の皆さんにも十分に理解していただく努力をお願いします。



(事務局) 子どもたちや親御さんたちの交流事業も計画し、皆様のご心配のないように阿波地域、加茂地域の PTA や住民の皆様と十分協議しながら統合を進めてまいります。

(会長) 予定の時間がまいりました。特に小学校の統合問題については、阿波のみならず加茂地域の皆さんへの説明も十分お願いいたしまして、今日の審議会を閉じさせていただきます。どうもありがとうございました。